

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ファーストステップ東成				公表日	2026年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		スペースを活用する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		人員に困ることがある 増員を図るとともに、社内より協力を求める	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		段差がない環境となっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	展示物などは最小限にして活動に集中できるようにしている	スペースを活用する	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	パーティションを用いてスペースを区切り活動に集中できるようにしている	必要に応じてパーティションなどを配置する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	レク案を日々記入し振り返りを行っている	朝礼などの時間でPCDAを全員で話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		朝礼で話し合う	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		責任者から全スタッフへ周知している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		今のところ行っていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	社内で行われる定期的な研修に参加をし学んだことを実践するようにしている	研修で学んだことを全員で共有している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		今後もスタッフ間で共有し適切に立案していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	職員全員の意見を取り入れている	内容を職員間で共有していく	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		今後もこどもの最善の利益を最優先に作成する	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		振り返りを行い計画に沿って支援ができていくかの確認を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		視覚支援も行う	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	日々の送迎の際に園の先生と積極的に子どもの様子などを共有し信頼関係を構築している	今後も積極的に行っていく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	チームで話し合いより良いプログラムになるように努めている	今後もチームで行う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	Instagram等のSNSで子どものニーズに合わせた情報を取り入れ実践している	他事業所の取り組みも参考にする	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別療育と集団療育をメリハリをつけて行っている	引き続き取り組んでいく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	個別療育、集団療育共に何を行うかを共有し役割分担も明確化している	朝礼の時間を有意義に使用している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		報告や振り返りは抜け漏れのないようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々レク案に記録を残している	徹底している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	モニタリングで再度計画を見直し保護者の意向のもと、見直しを行っている	職員間で共有している
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		中々、直接話をする機会はない 必要があれば適任が参画する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		関係づくりを今後も行っていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	日々の送迎時に共有や関係性づくりを行っている。必要に応じて園などに訪問し、情報共有を行っている	積極的に取り組んでいる
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	子どもの課題や支援方法等分かりやすく書類にまとめ、就学先に送付や、訪問しお渡ししている	保護者同意のもと積極的に情報共有を行っている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		必要があれば積極的に機会を設けていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		園を利用している子どもが多い。 公園などで他施設の子どもと合った際には挨拶をしている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	必要に応じて面談も行っている	送迎時や、連絡帳などのツールを利用して共有している
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		保護者勉強会を定期的に行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		今後も丁寧に伝える
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	保護者の意向を優先し子どもに無理のないように計画している	今後も保護者に丁寧に説明を行い確認する
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	支援の優先順位もお伝えしている	今後も丁寧に伝える
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	場合によっては相談内容を全員で共有し助言内容を考え、お伝えしている	こまめに面談を行う

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		年2回祝日イベント、保護者勉強会にて交流機会を設けている。 今後も交流する機会を模索していく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	最優先に時間を取り、積極的に対応する	今後も迅速に対応していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		今後もインスタグラムを更新する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	書類などはシュレッダーをかける 退園した子の情報は迅速に削除をしている	引き続き細心の注意を払って取り扱う
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	記録が残るように、 メッセージ機能や連絡帳を使用している	必要に応じて視覚支援なども行う
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	2	2		地域住民を招待することは難しいが、 近隣の方にご挨拶するなど、交流を心掛けている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		今後も活動について丁寧に伝える
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	防災頭巾やバッグなど一か所にまとめ 持ち出しやすいようにしている	避難訓練を行っている 今後も訓練を行う
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	新しい子どもが入所してきた際に 必ず確認している	全員で共有する
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	新しい子どもが入所してきた際に 必ず確認している	全員で共有する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		今後も安全第一に支援を行う
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		今後も周知していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	小さなことでも共有する 他事業所のヒヤリハットも共有を行っている	小さなことでも共有していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	保護者との信頼関係を構築し 相談しやすい環境づくりを行っている 保護者の些細な変化にも気を配る	研修で学んだことを全員で共有している
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	研修を通して自己研鑽を行っている	拘束を行わなくていいように配慮をしていく	